

山口県内における高圧ガス事故の発生状況等について

1 過去5年間の高圧ガス取扱形態別事故発生状況

山口県においては、平成30年以降は30件前後の高い水準で推移しており、昨年は容器の盗難・喪失を含め23件の事故が発生した。

また、昨年は、高圧ガス事故に係る死傷者は、0人であった。

表1 過去5年間の事故件数の推移

保安法事故 全体	年	H30	R元	R2	R3	R4
	事故	24	33	23	37	21
	盗難・喪失	0	1	2	0	2

表2 過去5年間の事故件数の推移（事象別）

事象別	年	H30	R元	R2	R3	R4
	火災・爆発	0	1	0	3	2
	漏えい	23	33	23	33	19
	その他	1	0	0	2	0

表3 過去5年間の事故件数の推移（規則別）

	年	H30	R元	R2	R3	R4
	製造	一般	13	17	9	7
液石		2	1	0	0	0
コンビ		4	3	4	12	6
冷凍		2	10	8	15	7
貯蔵	一般	2	0	1	0	0
	液石	0	0	0	0	0
消費	一般	0	1	0	1	2
	液石	1	0	0	1	0
移動	一般	0	0	0	1	0
	液石	0	1	1	0	0
その他		0	0	0	0	0

表4 過去5年間の死傷者数の推移

	H30	R元	R2	R3	R4
死者	0	0	0	0	0
重傷者	1	0	0	1	0
軽傷者	4	0	0	1	0
死傷者計	5	0	0	2	0

表5 過去5年間の事故件数の推移（ガス種別）

	H30	R元	R2	R3	R4
可燃	6	3	2	7	4
可燃・毒性	0	8	7	2	0
毒性	8	8	0	2	3
酸素	1	0	0	1	0
空気	0	0	0	0	0
不活性(冷凍を除く)	7	4	4	5	2
冷凍(フロン・不活性)	2	10	10	18	10
冷凍(不活性)	0	0	0	0	0
冷凍(可燃・毒性)	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	1	1

表6 令和4年の事故原因（主因）別件数

		冷凍設備以外	冷凍設備
物的要因	設計不良	0	1
	製作不良	0	0
	施工管理不良	0	4
	腐食管理不良	2	1
	検査管理不良	0	0
	点検不良	2	0
	締結管理不良	2	0
	シール管理不良	0	0
	容器管理不良	0	0
人的要因	組織運営不良	0	0
	操作基準等の不備	0	0
	情報伝達の不備	0	0
	誤操作、誤判断、認知確認ミス	0	1
	不良行為	0	0
その他	自然災害	0	0
	交通事故	0	0
	その他(調査中含む)	4	4
合計		10	11